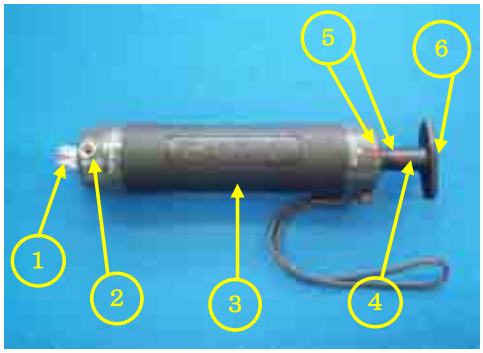
ガステック

機器概要

- 気体採取器
- 収納ケース
- 検知管

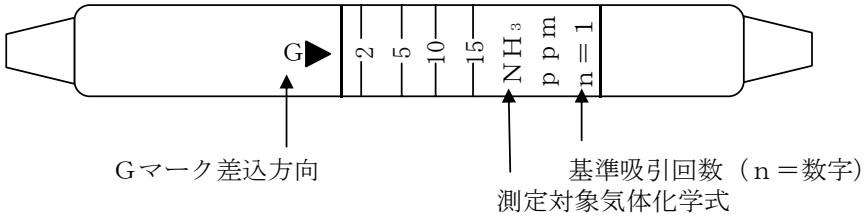
ポリテックⅡ	メルカプタン類
ポリテックⅢ	ベンゼン
アンモニア	二酸化イオウ
二酸化窒素	メチルエチルケトン
硫化水素	トルエン
高級炭化水素	メタノール
塩素	トリクロロエタン
硝酸	ミネラルスピリッツ
シアン化水素	ブタン
塩化水素	ホスフィン
フッ化水素	



主要部名称

① インレットゴム
② チップブレーカ
③ シリンダ
④ ハンドル
⑤ ガイドマーク
　吸引量　１００ｍｌ　　５０ｍｌ
⑥ フィニッシュインジケータ

気体検知管



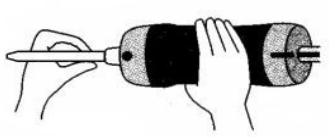
使用方法

１．検知管をセット

まず測定したい気体の検知管を用意する。
採取器のチップブレーカーまたはチップホルダ(オプション)で両端をカットし、
検知管はG⇒マークを気体採取器に向け、インレットゴムに差込む。

本体のチップブレーカまたはチッ
プホルダ(オプション)に差込み

気体採取器のハンドルを完全に押し込み、
検知管のG⇒マークを気体採取器に向け、インレットゴムに差込む。

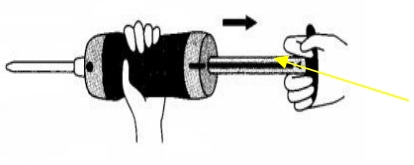


２．ハンドルを引く

シリンダとシャフトのガイドマークを合わせ、そして測定場所でハンドルを一気に引きます。
そのまま吸引時間の経過を待つ

シリンダのガイドマーク（赤線）と、シャフトのガイドマーク（▲）を合わせる。

完全に押し込まれている状態。

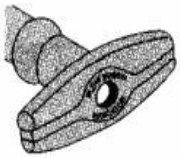


一気にハンドルを引き、固定する。

・吸引回数と吸引時間

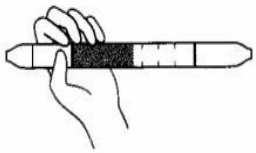
吸引回数と吸引時間は検知管の種類によって異なります。
どちらも検知管の取扱説明書に記載してあるので、事前に確認する。
ただし吸引時間に関しては一応の目安。
また、容量が確実に吸引されているか、下記のどちらかの方法で確認する。

①ハンドル後部のフィニッシュインジケータによって確認する。
　　吸引中はフィニッシュインジケータが白色になる。
②ハンドルを約90度回し、手を離す。
　　この時シャフトがシリンダ内に戻らない事を確認する。
　　戻る場合はそのままハンドルを引き戻し、しばらく待つ。
　　同様の操作を繰り返し、シャフトが戻らない事を確認する。



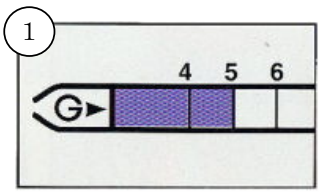
３．目盛を読む

吸引後、検知管に鮮やかな反応色が現れる。
測定時間（読取までの時間）の経過後、変色層の先端の目盛を読取る。
その数値がそのまま正確な気体の濃度である。
測定時間の経過後、変色層の先端の目盛を読取る。

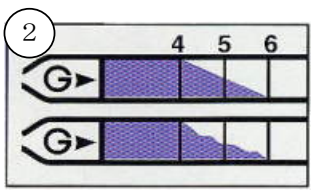


・濃度目盛の読み取り

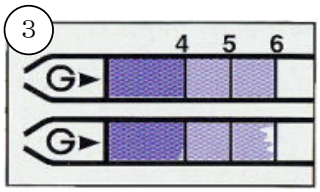
①変色層先端が平らな場合は変色層先端の数値を読取る。
②変色層先端が斜めの場合は斜め部分の中間を読取る。
③変色層先端の色が淡い場合は，淡い変色層の先端と濃い変色層の先端の中間を読取る。



この場合は、測定値5%



4と6の中間で測定値5%



4と6の中間で測定値5%